

# 家庭より見たる幼稚園

『婦人の友』主幹

羽 仁 も と 子

## ○子供の心を新らしくする爲め

二人の子供が大きくなりました今日では、幼稚園に對して、さし當りの問題はございませんが、私の経験では幼稚園から受けた利益を多く感じて居ります。世間では家が大きかつたり、庭が廣かつたり、又は兄弟姉妹が大勢であれば、幼稚園に出す必要はないやうに考へる人々がありますが、これは間違ひであると思ひます。どんなによい設備がある家でも、遊ぶによい庭があつても、子供が大勢居ても、それが毎日々々を暮らす自分の家であつては、子供にとつて誠に單調な世界で、決して楽しいものではないのでございます。幼稚園に出すことは、此の單調を變へて、子供の心持をどれ程新らたにするか、大人には思ひ及ばない程

であるやうに思はれます。半日を幼稚園に遊んで歸りくる我が家は、更らにまた新しい喜びでございます。母親にとつても、いつの日も朝から夕まで子供を傍らに引き寄せてゐるよりは、半日は離れてそれ〴〵の仕事に専心時を送つて後疲れてゐない新たな氣分で、子供を見る方が幸に違ひありません。殊にまた近代時勢の必要から婦人の職業がますます起るにつけて、尙更ら半日を子供と離れてゐる効果と必要が多くなつて參りませう。

## ○子供をよく知るために

子供の全體をよく知るものは親でございますが親は子供を幼稚園に出すことによつて今迄見出されなかつた子供の短所も、またその長所も心づく機會を得られるものと思はれます。子供にぞんざ

いな癬があつても、さういふ風をもつてゐる家の  
中では、一向氣附かれずに過ぎてしまふと同じや  
うに、何でもないことゝ見過ごして居たことを、  
幼稚園の先生からこの子には斯ういふ優れた所が  
あると語られて初めてさうであつたかと心づくこ  
とがあるのでございます。一體に、血の續いた同  
志の間には見え難いものがあるやうに存せられま  
す。子供が幾人もある家では、どこでも子供達が  
皆それ〴〵に違つて居ると申されますが、違ふと  
云ふのも家の中での見方で、同胞なればいづれ似  
た面影が身體の上に見はれずには居ないと同じく  
性質にも似たものがある筈なので、その似通つ  
た間柄ではつひ心附かすに見過して居るさま〴〵  
のことを、多數の中で比較されるため、親の眼に  
はつきりと映されることは、どんなに大切なこと  
でございませう。斯様にして見出さるべきものが  
若しも幼稚園期の年頃に見られずに終り、その後  
になつてから知るといふことでは、もう遅いので

ございます。

これ等のことから申しても、格別によくない幼  
稚園でない限り、得る所は多くあつて、害にはな  
らないものと信ぜられます。

### ○流行病に對する恐れ

幼稚園から流行病をもつてくるので困るといふ  
ことを方々の家庭から聞きますが、さういふ考へ  
をするよりは、私は子供が病毒から自分を衛るこ  
とを知るやうに導きたいと存じます。病氣が恐ろ  
しいから自家の庭ばかりに遊ばせて置くといふ風  
にいつでも隔離して育てる仕方は、精神的の方か  
ら見てもよくない結果になります。さうして育つ  
た子供は人中にまざることが出來難い癬になり勝  
ちでございませう。人に接した場合にそれ〴〵違つ  
た心持を發表し得られるやうに常からいろ〴〵の  
子供のの中に入れて覺えさせるために、時に病毒に  
對する恐れなどは押しきつても幼稚園に送ること

が必要であると存じます。勿論學校とは違ひますから身體の工合によつては休ませることもさして不都合は起らないのでございます。百日咳などの疑ひがあれば早くから登園を控へるやうにして、お互のため病毒を尠くする注意は如何やうにもなし得ることでございますから、病氣の懸念のため前に申した利益を犠牲にすることは出来ないと思存じます。

### ○言葉使ひのこと

今一つ家庭からよく聞くのは、幼稚園に出すと言葉が悪くなつていけないと申すことです。多数の子供を比較して姿勢の悪いのを正すことや、性質の長短を照らしあふといふやうな、子供の發達に大切なことに比べますと、言葉使ひなどは、小さいことゝ申さねばなりません。よい言葉といふのが親切な心持を云ひ表はす意味でなくて、形式の言葉になると、偽善を教ふる結果になります。よい言葉との注文によつて幼稚園で「遊ばせ」といふ言葉を頻りに使ふやうなことになるますと、子供の家では使つて居ないのに幼稚園へ出た時だけ

の言葉になつて不自然な親しみ難い心持を起させます。下等な言葉は勿論いけません、一體に平民的な、簡單、明瞭なのをよいとしてゆきたいと思存じます。

### ○他所行きになる子供

子供といふものは無邪氣で、内も外もないとはよく人の申すことでございますが、實際はさうでなく、子供が幼稚園に居る間は、たしかに他所行きの自分になつて居ります。それ故先生の云はれる言葉はよくききます。自家に居る時には耳にもかけないことでも幼稚園ならば著しく響くのです。此の事は先生の感化が及んで居るといふのは別の問題として、他所行きの子供といふことやその改まつた心持に就いて充分理解をもつて、子供と友達になつていたゞくのが誠に効果あることと存じます。さもないと子供にはきつい先生と感ぜられるのでございます。斯ういふことから幼稚園では叱ること、若くは叱るやうな口調は絶対によくないと考へられます。(文責記者)